

# 卒業おめでとう!!



# おおた

**四つの道しるべ**

- 学び知ることの楽しみを味わおう
- すなおな心で真実を求めよう
- 身体をすこやかに鍛えよう
- 限りなき恵みに感謝しよう

発行/札幌大谷中学校・札幌大谷高等学校 保護者と教職員の会

編集/広報部 印刷/株式会社



**「つながりの大切さ」**  
PTA会長  
榎垣 尚子

平成最後の卒業式となる日がやってきました。今年度も生徒の皆様はたくさん活躍を見せてくれました。ありがとうございます。昨年九月の北海道で起きた胆振東部地震では、大変な思いをされた方も多かったのではとお見舞い申し上げます。この災害で見えた地域のつながりの大切さ、人と人とのつながりの大切さは皆様も身を持って感じられたのではないのでしょうか。

自分の父母、祖父母、という縦の世代ライン、そして友人や先生、隣人等の横のつながりで考え、縦と横、それに斜めを加え交差させ、人のつながりを考えてみてください。皆様を取り巻く社会情勢は年々変わってきており、不安なこと多いのではないのでしょうか。何か困ったことがあったらこの縦と横のつながりを思い出し、自分に問いかけてみてください。素直になり助けを求めてみてください。困っている人がいたら手を差し出してください。助け合いながら生きていくことは社会のつながりの中で大切なことです。これからも笑顔忘れずに。卒業、おめでとうございます。



**卒業に寄せて**  
札幌大谷高等学校 校長  
種市 政己

「ここで必要なのは生命の意味についての問いの観点の変更なのである。すなわち人生からの何をわれわれはまだ期待できるかが問題なのではなくて、むしろ人生が何をわれわれから期待しているかが問題なのである。……哲学的に誇張して言えば、ここではコペルニクスの転回が問題なのであるといえよう。すなわち、われわれが人生の意味を問うのではなくて、われわれ自身が問われた者として体験されるのである。人生はわれわれに毎日毎時問いを提出し、われわれはその問いに、詮索や口先ではなくて、正しい行為によって応答しなければならぬのである。」フランク

みなさんはこれから「人生の旅路」へ歩み出します。みなさんが「問われつづける存在」としてそれぞれの人生を誠実に精一杯生きていってほしいと願っております。



**二〇一九更なる『チェンジ大谷』へ!!**  
札幌大谷中学校 校長  
阿部 不二雄

札幌大谷中学校の入学者が徐々に低迷し、又入学者の学力レベルが低下しはじめたここ数年の負のスパイラル、そこに「待った」をかけるべく「チェンジ大谷」チャレンジ大谷が昨年四月開始しはじめました。教室掲示が一新され、生徒たちには「本気で向かい、本気で取組み、本気で結果を出す」とこの本気三原則が示され、そして学校説明会では「大谷の本気」を示す、二〇一九年からの「アクティブミックス」手法を取り入れた新たな学習法が提示され、一気に「新生大谷」が内外軌を一にするかのように、サッカーやバレー、卓球、そして野球と全国レベルの成果が次々と現れ、竜の雲を得る如き有様が続いたのです。更に、現中三卒業生を中心とするアスリートたちの大活躍と歩を同じくするかのよう

に、美術コースの中三生は有島武郎展で上位を総なめにし、且つ音楽コースでは吹奏楽局が全道優勝そして全国コンクールでも銀賞と、華々しい活躍の連続でした。こうした卒業生の軌跡は正に在校生たちに更なる「チェンジ大谷!!」を促すかのようです。受けて立っています。主役は私達だとばかりに「安心してみて下さい。先輩たちの財産を更に大きくします」と。



今年度の厚生部主催の社会見学は富良野でした。地震後にもかかわらずご参加いただきありがとうございます。見学の様子を紹介いたします。  
十月十九日(金)、秋晴れの中、バスは富良野に向けて出発。午前は特産品が揃っ

「富良野へ」  
厚生部長  
阿部 純子

私たちが人間として豊かに生きていくために大事にしなければならないことは、「聞・問・開」である。まずは相手の話をきちんと「聞く」。相手の言葉は誰か

「聞・問・開」  
世の中は悪人の懺悔の涙に潤されて善人の驕りによって乾いてくる(金子大栄)。  
大谷中学・高等学校(京都)  
宗教教育センター長  
乾 文雄 先生

真理を自分の都合に合わせて了解したものを正義と呼ぶ。真理に立つと争う必要のない人が誕生する。それを親鸞聖人は悪人と呼んだ。正義に立つ人は争いがやまない。そこに生まれる世界を地獄という。正義に立つ人を親鸞聖人は善人と呼んだ。自分のことを善人だと思ってしまうのと、自分はどうしようもない人間だと思ってしまうのでは生き方が違ってくる。

た富良野マルシェで買い物を楽しみ、十勝岳連峰を眺めながらの食事会。午後は、トリックアート美術館で不思議な体験をし、ガラスエッチングにも挑戦。最後は、果樹園でもぎたてフルーツを食べ帰りました。とても楽しい一日でした。

社会見学を盛り上げ、会議や準備にご協力頂きました先生、委員の皆様にもこの場を借りましてお礼申し上げます。ありがとうございました。

\*\*\*  
な校、講演ではスポーツコメンテーター・サッカー解説・サッカー指導者の大森健作先生から『出会いが僕を変えた』という演題でお話をいただきました。

を攻撃したり自分を大きく見せるために使うのではなく、自分のために放たれた言葉として聞き、「今の自分はこれなのか」と自分に「問う」。そして自分を「開く」。開くとは人と自分との比較より生じる優越感と劣等感から開放されることである。自分を開くと人間関係が豊かになる。人間関係に行き詰ったら、「聞・問・開」のどこかに対して手を抜いているということである。仏教に出会うとは自分自身に気づかせてもらうことである。  
私たちはともすると自分を見失い、自分では自分をわかっていると思ってしまう。自分を正し、立ち止まることを恐れないこと。「これでいいのか」と問う瞬間が自分を正していく瞬間である。

\*\*\*

2017年度計算書(決算書)についてお知らせ致します。

標記した「資金収支計算書」は、当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容を明らかにする計算書で、学校法人会計基準に(文部省令)に基づいて毎会計年度継続しての作成を義務づけられています。  
なお、作成までの間、公認会計士による監査、指導を定期的に行う、学園監事の監査及び評議員会、理事会の承認を経て、文部科学省、北海道学事課等に報告しています。報告は、法人として提出しておりますが、その中の中学・高校について抜き出した内容です。

札幌大谷中学校・高等学校の財務状況について

2017年度札幌大谷中学校・高等学校決算額 2017年4月1日～2018年3月31日 (単価：千円)

科 目	入 部			支 出 部		
	中学校	高等学校	合 計	中学校	高等学校	合 計
学生生徒等納付金収入	99,289	396,587	495,876	人件費支出	172,955	679,239
手数料収入	1,909	11,398	13,307	教育研究費支出	35,025	121,033
寄付金収入	7,829	36,773	44,602	管理経費支出	8,912	29,018
補助金収入	86,466	316,021	402,487	借入金等利息支出	415	1,342
資産売却収入	0	150	150	借入金等返済支出	18,880	31,000
付随事業・収益事業収入	882	3,205	4,087	施設関係支出	0	0
受取利息・配当金収入	0	1	1	設備関係支出	4,183	19,706
雑収入	833	91,248	92,081	資産運用支出	7,629	30,231
借入金等収入	0	0	0	その他の支出	13,654	146,673
前受金収入	7,600	36,248	43,848	—	—	—
その他の収入	39,003	144,673	183,676	—	—	—
資金収入調整勘定	△ 18,193	△ 122,376	△ 140,569	資金支出調整勘定	△ 6,007	△ 101,497
前年度繰越支払資金	32,930	127,257	160,187	翌年度繰越支払資金	2,902	84,440
収入の部合計	258,548	1,041,185	1,299,733	支出の部合計	258,548	1,041,185



「感謝」

六年一組 黒川 優哉

私は六年間この大谷でたくさんの人に助けられてきました。自分一人ではここまで成長することはできなかったと思います。今後も感謝を忘れずに次のステージへ進んで行きたいと思えます。

「六年間の大谷」

六年二組 上野 姿月

私は六年間大谷中学・高等学校に通い、友達の大切さや先生の温かい支援のおかげで第一志望校に受かることができました。六年間、大谷で学べたことを誇りに思い、大学で勉強を頑張りたいと思います。

「青春」

六年三組 稲村 達哉

僕は高校三年間を振り返り今年が一番濃い一年でした。個性が強いクラスなので日々の授業も行事活動も楽しく充実した生活を送れました。家族、友達、先生への感謝の気持ちを忘れず、次の道でも成長していきたいです。

「感謝」

六年四組 内田 美祐

卒業を目前にして私が今思うことは母への感謝です。女手一つで私をここまで育ててくれ、母にはありがとうの一言では伝えきれないほど感謝しています。母の努力を無駄にしないように、大学入学後は勉学に勤しみ良い成績を維持したいと思えます。

「ゴールはまだ先」

六年五組 渡部 太基

高校という人生においての一大イベントの一つが終わろうとしている。しかし、これは新天地への準備に過ぎません。妥協せず全力で前に進んでいきます。



「高校生活を振り返って」

六年六組 武田 彩希

私は、高校生活の中で多くの人に支えられ、これから生きていく上で大切なことを学びました。卒業しても、三年間で学んだ周りへの感謝を忘れずに自分の夢の実現へ向けて精進していきます。

「高校生活を振り返って」

六年七組 齋藤満里奈

私は音楽科に入って、一人だけでなく皆で音楽を作る楽しさを学びました。自分達で企画して演奏会をしたり、クラスで合唱曲を作ったり、全てが貴重な経験です。これらを生かしてもっと成長していきたいです。

「将来を見据えて」

六年八組 我妻ありす

人生では色んな事が起こります。そんなとき大切になってくるのは「貯金」です。お金を貯める、そして知識を蓄える。同じ位大事なことだと思います。将来を見据えて、大きな貯金箱をいっぱいに見てみませんか。

「過ごした時間」

六年九組 滝口 夏緒

私は六年間大谷で礼儀や人との接し方などたくさんを学んできました。部活動では全国大会に出場し、貴重な経験ができたと思います。卒業後はこれらの経験を活かして努力し続けたいです。





# 選抜大会 出場決定

**選抜(甲子園)出場に向けて**  
 高校野球部監督 船尾 隆広

創部十年目、平成三十年は本校野球部に取りましては歴史的な年となりました。第七十一回秋季全道大会で悲願の優勝を果たすと、勢いのままに全国大会となる第四十九回明治神宮野球大会で初出場初優勝をも成し遂げ、一気に日本一まで駆け上がりました。

野球部員の努力と頑張りは勿論ではありませんが札幌大谷学園に携わる沢山の皆様からパワーを頂き予想を超える結果を残す事が出来ました。これから迎えようとしている選抜甲子園大会では、昨年の結果に満足する事なく新たなチャレンジとして初出場校らしくハツラツとプレーをし全国強豪校に立ち向かっていきます。

明治維新150年記念  
 第49回明治神宮野球大会  
 優勝  
**札幌大谷高(初)**

1回戦	札幌大谷	6-5	龍谷大平安
2回戦	札幌大谷	7-3	国士館
準決勝	札幌大谷	5-2	筑陽学園
決勝	札幌大谷	2-1	星稜

**最高の仲間と最高の舞台で**  
 野球部部长 五年一組 飯田 柝哉

硬式野球部五十六人、この最高の仲間と共に高校野球の聖地「甲子園」で野球ができるということは僕の人にとって一生の宝物となると思います。ここまでこれたのも多くの人に支えていただいたからです。感謝の気持ちを忘れることなく最高の仲間と最高の舞台で自分たちが今もつ居られたら良いと思います。

**この仲間と共に**  
 五年三組 西原 健太

春の選抜大会が目の前にあるというのは多くの方々の支えがなければなりません。なので「感謝」の気持ちを忘れることなく精一杯プレーしてやるのが僕にできる恩返しだと思います。またこの最高の仲間たちと行ける最高の舞台なので目一杯楽しみたいと思います。

**目の前を見て**  
 五年四組 石鳥 亮

今回、選抜大会出場という僕の野球人生でも一生記憶に残るものになると思います。神宮大会ではチーム



五十六人全員で一体となり掴めた優勝だと思えます。応援してくれる方々、支えてくれる方々、そのみなさんに力を与えられるような試合をしたいと思えます。最高の仲間と甲子園で最高のプレーをしたいと思えます。

**マネージャーとして**  
 五年六組 森 優太

甲子園というあの高校野球の聖地のベンチに入ってこの最高の仲間と戦えるのは多くの方々の支えがあったからです。選手達はこの舞台を目標に頑張ってきました。この「甲子園」という大舞台で選手達がベストパフォーマンスできるように全力でサポートしていきたいと思えます。

# 吹奏楽局

## 「北海道代表としての自覚」

六年六組 大島 きらり

地区大会、全道大会共に一位通過し、私たちは創部以来初の快挙を成し遂げました。代表校としての自覚を持ち感謝を忘れないように局長であった私は朝の奉仕活動、挨拶・返事等の礼儀の徹底を呼びかけました。この先も強豪であるために、技術の向上だけでなくプライドを持つことが大切です。今回の大会では全員がその事を自覚できたと思います。



# 「全国大会」へ

## 女子バレーボール部

六年三組 佐古 唯奈

私たちは三年連続の春高全国を経験して、日々の練習の大切さを改めて感じました。課題をどう練習して克服するかを、自分達で考えて実行しなければ、先生に言われるがままでは意味がありません。このことに気づいたので新チームに活かします。



## フェンシング部

五年二組 坂本 皓陽

今回、第四十三回全国高校選抜フェンシング大会の北海道東北予選に出場し、男子サーブル団体戦優勝、フルーレ団体戦準優勝という結果で、三月に愛媛県で行われる本戦に出場します。全国



大会では、チーム一丸となって入賞を目指して全力で頑張ります。

## フィギュアスケート

五年四組 三善 友奈

インターハイの目標はショートプログラムでノーミスでフリープログラムを滑りきるということです。去年のインターハイでは自分が納得いく演技が練習から出来ていなかったで、練習からノーミスの演技を目指し日々目標をもって頑張っていました。



## 卓球部

六年二組 伊藤 佑希子

今回の全日本卓球選手権大会は、私が大谷高校の生徒として出場する最後の全国大会です。私は、六年間の中でたくさんを経験させていただき、成長することができました。六年間の集大成として悔いが残らないよう、頑張りたいです。



## 美術部

五年八組 高島 綾乃

全国大会に向けての意気込み  
今回、高文連で全国推薦が頂けて嬉しく思います。全国大会では、全国の高校生の作品が見られるのが楽しみです。また、学ぶ事がたくさんあると思います。貴重な経験なので、この全国大会を通して自分の成長に繋がると良いなと思います。



## 書道部

五年九組 三浦 理央

### 全国大会に向けて

今、私は夏に佐賀県で行われる高文連全国大会に向けての作品を制作しています。普段の作品より書く枚数が増えますが、一枚一枚丁寧に仕上げていきたいです。全国大会では様々なことを吸収して、今後の制作に生かしたいと思います。



# 中学日記



生徒諸君！

本気で向かい、本気で取り組み、本気で結果を求めよう！  
全員がその姿勢で臨んだら札幌大谷中学校は間違いなく  
日本一の中学校になれます。

そして、成果を求める時は、必ず目標（成果）があり、  
その目標を実現するには計画があります。その見通しに立っ  
て取り組んでみよう！必ず君たちは何でもできる生徒たち  
に変身できます。ガンバレ

生徒諸君！！

## 宿泊旅行

宿泊研修の思い出

一年一組 辻本 陸翔

まず、今回の宿泊研修は、札幌大谷中学校で初となる、冬の宿泊研修でした。一日目は、ネイバル深川でレザークラフト、妹背牛町でカーリング体験、ホテルでの富良野自然塾さんの講演があり、二日目は旭山動物園に行きました。どれも、普段体験できないことなので、貴重な体験ができて良かったです。そして、この二日間です。



日間で学んだことは、チームワークです。行動班で動くことが多く、僕は班長を務めました。僕たちの班は、もめ事など一切なく、仲の良い班でした。ですが、反省点もあります。それは、旭山動物園の時に、何回かメンバー同士がはぐれてしまったこと



とです。これは、班長である僕の責任なので、そういう所を改善するために、目配りを意識して、生活していきたいと思います。

## 修学旅行

修学旅行

二年二組 坂本 桜子

私たちは修学旅行で長崎県に行きました。長崎は、昭和二十年八月九日、午前十一時二分に原子爆弾が投下された所です。このことについて勉強してきました。そこで、原爆の恐ろしさを学び、もう二度とこのようなことが世界中で起こらないといいなと心から思いました。



また、民泊では仲間と一緒に長崎ちゃんぽんを作り、現地の人とたくさん触れ合えました。長崎の街の自主研修では、普段行かない場所に行けて良かったです。太宰府天満宮ではみんなとおみくじを引いたのも良い思い出になりました。



この旅行で学んだことをこれからこの生活に活かしていきたいと思えます。

## 大谷での三年間

大谷中学校で学んだこと

三年二組 石鳥 颯

今年の合唱コンクールで僕のクラスでは、「STORY」を歌いました。本番の一ヵ月前から練習を始めました。三年生にとって最後の合唱コンクールだったので、絶対グランプリをとるという気持ちで練習に励んでいきました。音楽の先生や、担任の先生にアドバイスをもらい、練習を重ねていくにつれて、クラスの合唱もより良くなって来ました。



そして、合唱コンクール本番当日。今までで一番良い合唱ができましたが、結果は準グランプリでした。グランプリという結果ではありませんでしたが、クラス一体となってできたので悔いはありませんでした。高校でも目標に向かって努力をし、その目標を達成できるように頑張っていきたいと思えます。



頑張っていきたいと思えます。

### ◆女子バレー部

三年二組 藤岡 遥菜

私たち中学女子バレーボール部は縁結びの神様がいたといわれる島根県で全国大会を戦いました。

このチームが始まって以来、掲げてきた日本一へ向かって、自分たちの力を超えるような試合ができました。思います。準々決勝で敗れましたがベスト8にふさわしい試合ばかりでした。

届かなかった日本一は、必ず次の舞台で果たせるように、この仲間とまた戦っていききたいです。

顧問 朝倉 美紀

前年度全道中体連稚内大会で三位となり、全国大会に出場できなくなつた日から一年間。死に物狂いで練習を積み重ね、全国ベスト8の結果を残すことができました。「練習は嘘をつかない」というのは本当でした。今年のチームが残してくれたものを大切に、これからも本気で練習していきます。



### ◆サッカー部

中体連を終えて

三年二組 森 己鷹郎

僕たち中三にとって最後の中体連。全国優勝という目標を掲げ、チーム一丸となって練習してきました。しかし僕はとても悔しい思いをしました。二回戦の暁星国際戦では自分の1対1が全く通用せず負けてしまいました。とても悔しかったです。自分と全国の差はかなり遠いと感じました。この悔しさを忘れず高校でも一度全国へ行き、全国レベルの相手を絶対に止めて、全国の頂上に立ちたいと思います。

顧問 高向 隼人

今年度、中体連全国大会ベスト16という過去最高成績を残せたのも、学校・保護者のサポートやOBが築いてきたことが実った結果であり、感謝申し上げます。同時に、全国トップチームとの差を感じられたことは大きな収穫で、一人ひとりが人間力を向上させ、より良いチームを目指すしていきます。



### ◆野球部

三年二組 石鳥 颯

僕は三年前大谷中学校に入学して野球部に入部しました。野球部では技術面だけではなく、礼儀や相手を思いやる心などこれからの人生において大切なことを教わりました。

このようなことを教えてくれたのは、監督、コーチ、そしてチームメイトのみんなでした。なので僕を支えてくれた全ての人に感謝をし、中学で果たせなかった全国制覇という夢を甲子園で叶えて最高の恩返しをしたいです。

監督 有賀 良太

今年度は春に大阪で行われた全国選抜大会からスタートし、春季全道大会で準優勝、第三回北ガス杯全道大会での優勝など多くの活躍をしてくれました。三年生には三年間学んだ事や経験を活かし、感謝の気持ちを忘れず、新たな目標に向け日々努力を重ねていってほしいと思います。



### ◆卓球部

三年一組 買手 日菜

中学校最後の全国大会は一回戦敗退という結果で終わってしまいました。今回の大会での私の目標はベスト8に入ることでした。高校二年生まで出場するこの大会で勝ちあがっていくのは難しいのですが、中学生だからこそ向かっていく気持ちでやろうと思っていました。試合が終わってわかったことは技術やメンタルなど全てが強くないと勝てないということ。この経験を生かし、もっと強くなりたいです。

監督 佐藤 裕

平成最後となる全日本選手権に卓球部から中学二人、六年生二人が出場し、三回戦進出が最高の結果で終わった。この大会は小学生から石川佳純や伊藤美誠まで参加する一番權威がありレベルが最高峰の大会である。年々レベルが高くなり、勝ち抜くのは厳しいと改めて痛感した。ただその舞台で勝つ事を目指さなければ、卓球部の目標である、北海道から金メダルは達成出来ないのでは、これからの目標は高く持ち選手と共に頑張りたいと思う。



# 研修旅行の思い出



## 関東コース



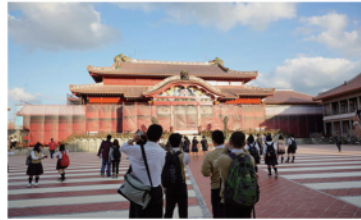
「全国の高校生に聞いてみた」系ランキングの多くを総なめにした「研修旅行(俗称・修学旅行)」これは言わずと知れた高校一大イベントです。

私事ではありますが、研修旅行の思い出と申し上げますと申し上げますとそれは東京証券取引所での一日だと存じ上げます。将来は経営コンサルタントの後、あわよくば起業をしたいと考える私としては有意義な一日となりました。

### 東京証券取引所での一日

五年六組 森 優太

## 沖縄コース



飛行機を降りるとそこは異国そのものでした。強い陽射しにじむ汗、うちわを仰ぐ人の姿に思わず胸が高鳴ります。まるで目に映り、肌で感じる全てのものが新鮮だった幼い頃と同じように。

未来の自分を見つめるこの時期だからこそ、豊かな心で何かに触れる温かさをいつも抱いていたいです。

### 非日常に撫でられて

五年六組 野口 宏記

## 台湾コース



台湾グループは山ほど思い出のある五日間でしたがその中でも特に印象に残った自主研修の事を書きます。

私達は大学生のガイドと一緒に行動して現地を巡りました。私の班では台北一〇一の展望台に上って現地を見下ろしたり、西門や中山の街を探索しました。日本とは少し違う雰囲気を感じたのが良かったです。忘れ得ぬ体験ができました。

### 台湾の思い出

五年五組 中保 江梨

## 音楽科コース



音楽科の研修旅行での目標は、音楽的な感性を身につけることでしたが、三泊四日という短い時間で、様々な観点から芸術に触れ深く知ることができました。特に印象に残っているのは浜松楽器博物館に行ったことです。外国の伝統ある楽器や日本の昔の楽器などを見て、聴いて体験することができました。とても充実した研修旅行になりました。

### 浜松楽器博物館に行つて

五年七組 齋藤 千夏

## 平成30年度学園祭

### PTA掘り出し市 決算報告

	支出	売上	収入
雑費 (ざらめ、備品、当日お茶など)	16,726	-	76,790
寄贈品販売	-	93,516	
Tシャツ(@1,000×46)	33,226	37,000	3,774
東本願寺	10,500	13,200	2,700
合計	60,452	143,716	83,264

## 編集後記

広報部長 小甲千恵子

今年度も多くの生徒さんの活躍ぶりを紙面にてご報告できる事を嬉しく思います。ご多忙にもかかわらずご協力がくださった多くの方々に感謝申し上げます。

## 美術科コース



美術科の研修旅行は金沢・京都・奈良へ行きました。地域ならではの伝統や文化に触れ北海道との違いを痛感しました。北海道は命名百五十年を迎えましたが本州はそれの何倍もの年月を経ているので美術品や建造物の年時から違いを感じました。このことからもっと様々な地域へ行き、各地の歴史を学びたいと思ったので、事前によく調べようと思います。

### 伝統や文化に触れて

五年八組 酒本 珠羽